

田口忠義議員



平成27年度予算の編成について

議員 来年度の予算編成方針の中で特に教育の充実、子育て支援、防災・減災対策、産業振興を重点分野と位置づけている。各項目の取組み内容をたずねる。

市長 教育の充実については、ハード事業では幼稚園、中学校への空調設備設置工事費の予算を計上する。ソフト事業では、教育用デジタル機器を引き続き導入していく。

子育て支援については、市独自で実施している保育園保育料の減免拡充等を継続したい。また、不妊治療支援事業等の拡充も盛り込んでいく予定である。

防災・減災対策については、学校耐震化事業において、来年度で耐震化が必要な校舎等の改修が全て完了する。また、災害時の情報伝達となる同報系デジタル防災無線の整備についても、来年度に完了する。

産業振興については、企業誘致の促進や市内中小企業への各種支援等を予算計上し、地域経済の活性化と雇用の創出を図りたい。

市長1期目の公約について

議員 市長は、1期目の任期が残すところ約1年であるが、公約の進捗状況をたずねる。

- ① 温水プールの整備。
- ② 水道料金の健全化。

市長 ①年齢に関係なく活用する観点から、現在温水プールの整備内容、建設規模等の整備基本構想策定に向け検討を行っている。

②新水道ビジョンを策定する中で施設の更新方法や資

金調達方法等とあわせて検討したい。

消滅可能性都市の回避策について

議員 日本創成会議が発表した消滅可能性都市には本市も該当している。その回避策を考えているのか。

市長 定住促進を最優先課題と位置づけ、若者の地元定着、子育て支援等の充実に関する施策をさらに強化することとしたい。

竹原泉議員



ペットや捨てられた犬、猫など放置された動物について

議員 ①本市における野良犬、猫の現状をたずねる。

②放置された野良犬、猫の繁殖を、極力殺処分することなく適切に抑制していくことが重要である。これについての方策があるのか。

市民生活部長 ①県の動物愛護センターの事業実績によると、平成25年度実績で収容頭数合計123頭、処分頭数合計54頭である。

②広報かさおかで犬や猫を終生飼っていたくよう呼びかけており、笠岡放送と協力し捕獲犬情報等も提供している。

また、動物ふれあい教室等に参加いただいて、命の大切さや動物愛護精神の普及啓発に努めている。

議員 大阪市ではTNR活動（捕獲し、去勢・不妊させ、戻す）を行い、成果を上げています。手術費用の負担が大きいのが、地域の獣医師会にも協力を働きかけ、一定の補助を行うことで負担が軽くなれば大きな効果が得られると考えるが、どうか。

市民生活部長 そういった

方向も検討すべきと考える。

学校給食の食材について

議員 現在本市の学校給食に使用されている食材の安全性は確保されているのか。

教育長 学校給食に使用する野菜等の給食物資見積書で、市内産、県内産、国内産かどうか確認をしている。また、加工食品については原材料組成表等を求め、食品添加物の少ないものを選定している。食材の選定にあたっては、市内産、県内産、国内産の順番で選んでいるが、国内産の価格が高い場合や国内産がない場合については外国産を選定している。

議員 一年を通しての市内産、県内産、県外産の割合をたずねる。

教育長 平成25年度では、市内産が約30%、県内産が約22%、県外産が約27%であり、ほかに県の学校給食会から約21%となっている。

5